
シニア世界選手権2015 (6)

フランス・エギュベレット 30/Aug/2015-06/Sep/2015

遠征レポート - 2015年8月30日



大石選手（中部プラントサービス）と部谷トレーナー



LM4-x：西村選手（NTT東日本）・田立選手（戸田中央総合病院RC）・片岡選手（明治安田生命）・今井選手（NTT東日本）

8月29日(土) レース前日

エギュベレットでは青空の広がる日が続いています。本日も午後は気温が上がる予報です。予選を翌日ないし翌々日に控え、この日は乗艇回数を午前または午後の1回にしているクルーもいました。15:00から組み合わせ抽選と代表者会議があり、崎山委員長と建部マネが出席しました。その場で組み合わせ発表があり、明日のレース日程が建部マネより送られてきました。明日のレースは男女シングル、男女ダブルとなっています。

17:00よりopening ceremonyがコースの近くのビーチであるとのことで、選手は乗艇後にコースから会場行きのバスに乗って向かいました。Ceremonyのメインはビーチでの演劇で、こちらが18:00頃まで続いたので、明日のことも考えて早めに切り上げ、ホテルに戻りました。

いよいよ明日より世界選手権のレースがスタートします。軽量級ダブルとフォアは11位以内でオリンピック出場権を獲得することができます。Crew JAPAN一同全力で挑んで参ります。

8/30(日)レース 1 日目

いよいよ今日からレースがスタートします。今日はレースはありませんが、朝乗艇するためにフォアが6:00に出発。外はまだ真っ暗でした。レース前の朝の練習時間は7:00-9:45で、予選が明日の種目も多いためかコースが混み合っていました。本日レースのある男子シングル、男女のダブルも軽めに乗艇し、スタート2時間前からの計量に向かいました。出艇時にGPSを設置するため、水上に浮かべるのはスタート45分前とのこと。まずはLM1Xの須田選手が9:30頃には水上に出ました。その後上田選手も岸を蹴りました。パラローイング日本代表のスタッフ陣も駆けつけて下さいました。



LW1x 上田選手（明治安田生命）

出艇の際、艇の装備を確認するボランティアの方がSRDを知らなかったためか、一度ストップをかけられ、審判員に確認する、ということがありました。審判員も知らなかったようで、靴が外れるところを見せることでようやく納得したようで、出艇を認められました。

10:05須田選手のレースがスタート。エギュベレット湖はスタート方面まで見通すことができないため、毎レースの様態とスピード、ピッチが画面にて映し出されていました。第1クォーターは一位で通過しましたが、徐々に他艇との距離も近くなり、後半から他艇の追い上げになんとか付いていくも僅差で4着でフィニッシュ。わずかに届かず、明日の敗者復活戦に挑みます。続く上田選手のレースは10:35発艇。序盤は最下位と苦しい状況でしたが、他艇よりも高いピッチで距離を縮め、ラストはSR40台まで上がり驚異の追い上げ、3着でゴール。圧倒的な差を見せた1着のアメリカ以外は明後日のrepechageに回ります。



LM2x 中野選手（NTT東日本）・大元選手（アイリスオーヤマ）

11:00ごろに男子ダブル、その後女子ダブルがが蹴り出しました。

今回の世界選手権では出艇前のチェックが厳しく、靴のマジックテープに紐が取り付けられている必要があるとのことでした。

11:50 男子ダブルスタート。

序盤の方から先頭に置いて行かれる形で、なかなか距離は縮まず、5着でゴール。明日のrepechageに臨みます。

12:20 女子ダブルスタート。

ルツェルンでのWRCIIIチャンピオンである南アフリカ共和国は序盤より抜き出て、2-4着争いに日本チームも加わりました。後半少しずつ3着との距離が広がり、4着でフィニッシュ。9/1にある準々決勝へと駒を進めました。

4種目で本日のJAPANのレースは終了。



LW2x 富田選手（明治大学）・大石選手（中部プラントサービス）

16:00からコースが解放され、フォアと女子ダブルが乗艇しました。女子ダブルはレースでの課題に取り組み、フォアはレース前調整をしました。

明日はLM2-、LM4-は予選、LM1X、LM2Xはrepechageがあります。
明日までは天気も持つ模様です。よいレースを期待したいと思います。



LM1x 須田選手（アイリスオーヤマ）